

**おいしい給食に感謝の意を込めて**

伊方小では1月23日から31日までを給食記念週間にしています。今回その一環として、日ごろ児童のために栄養バランスを考え、おいしい給食を作ってくれる給食センターに感謝の意を込めて「ありがとうカレンダー」を作成。2月2日に職員に手渡しました。カレンダーは各学級が食育の学習会で勉強したことを生かし、「食」の大切さを考えながら仕上げたそうです。



↑各学級ごとに趣向を凝らした作品が完成。食に対する感謝が込められています。

↓雪上を歩くための「スノーシュー」をはいて雪山を散策。下りはそりで下山しました。



**平成23年度冬季少年のバス 白銀の世界で仲間と共に思い出を刻む**

地元では体験できない白銀の世界に親しんでもらおうと、青少年育成町民会議主催の「冬季少年のバス」が1月27日から2泊3日の日程で宮崎県五ヶ瀬ハイランドスキー場で行われました。参加した町内の小中学生26人は、初めてゲレンデにたつ子も多く、胸を躍らせながら一面に広がる雪上の感触を体験。年齢や校区も違う仲間と一緒に貴重な体験を共有しました。

**赤 I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット 池中生徒が遠賀川流域宣言文を朗読**

遠賀川の環境保全を話し合う「遠賀川流域リーダーサミット」が1月22日、飯塚市で開かれました。22市町村長が初めて一堂に会し、「水源の山々から海までつながり響きあう生命の環を育てます」とする遠賀川流域宣言を採択。水質浄化に努めることを確認しました。宣言文朗読は全校挙げて河川環境保全に取り組む赤池中が選ばれ、生徒5人が堂々と読み上げました。



↑田口大成、中生加翔平、宇都宮零士、穂本実早紀、石松杏菜が朗読（※敬称略）

↓食進会や栄養士の丁寧な指導のもと、和気あいあいと料理に腕をふるう参加者。



**腕 男性料理教室 腕をふるい男を磨く男性料理教室**

男性にも料理の楽しさを知ってもらおうと、食進会主催の「男性料理教室」が2月6日から3月2日にかけて町内3か所の保健センターで3回ずつ行われました。参加者38人はカロリー制限し、栄養バランスが取れたサバの南蛮煮や鶏肉とキャベツのこんがり焼きなどを調理。塩加減や材料の切り方を間違いないながらも、完成した料理を味わうと充実感を漂わせていました。

↓16組38人の親子が紫キャベツで染めたコーヒーフィルターに、石けんなどを使い鮮やかなアジサイを作成。



**親子で学ぶおもしろサイエンス**

青少年育成町民会議主催の講演会が2月19日に金田保健センターで開催されました。今回の講演会は講師が一方向的に話す例年の形式ではなく、親子が会話を交わして一緒に考える「参画型」の講演会で、初めての試みです。講師は環境カウンセラーの中尾明子さんが務め、参加者と科学実験に挑戦。石けんやコーラなどを使い、日用品の中で酸性やアルカリ性のものを見つけました。参加者は「子どもが普段とは違い、とても集中していました」と話し、親子で目を輝かせながら熱心に実験に取り組んでいました。

**過去最多の178人が絶妙プレー披露**

町子育連主催の屋内サッカー競技「フットサル大会」が2月12日、金田体育館と金田屋内競技場で開催されました。1チーム5人で編成され、29チーム178人が出場。小学生低・高学年と中学生の部に分かれ、コートを所狭しと駆け巡りました。【優勝】小学生低学年の部：ファイブスター（金田）、小学生高学年の部：インテル（金田）、中学生の部：チーム野球部（金田）



↑細かいパスで相手陣地に迫り、鋭いシュートを放つ参加者。（小学生低学年の部）

↓5回目を迎えた今回は、11 窯元が独自性に富んだ作品を約300点出品しました。



**特別な日に愛を注いだ猪口をプレゼント**

バレンタイン定番のチョコと同じ発音の「猪口」が、2月1日から13日まで上野焼陶芸館で発売されました。ハート型や天使の羽などをあしらった特製猪口は、若者からお年寄りまで幅広い層で人気。猪口を納める博多織や久留米緋のきんちゃく袋も販売され、来場者はいつもとは違う贈り物で特別な手を喜ばせようと、笑みを浮かべながら買い求めていました。